

平成26年度 水質事故発生状況

・油浮遊事故

発生月日		水系	支川等	市町村	事故区分			原因者等	事故の概要
月	日				魚死亡	油浮遊	その他		
4	8	引地川	蓼川	綾瀬市		○		不明	厚木基地内の従業員から、綾瀬市の基地内の蓼川において大量の油浮遊があるとの連絡があった。対応として米軍が油吸着剤により回収を行った。原因調査を行ったが特定には至らず、その後新たな油の流出は確認されなかったため、本件は原因不明で収束した。
4	23	相模川	目久尻川	座間市		○		個人	市民から目久尻川右岸の雨水管から油が流出しているとの通報があった。現場確認を行ったところ、雨水管からの油の流出を確認したため、オイルマットを設置した。原因調査を行ったところ、個人宅のバイクが原因と判明した。翌日には新たな油の流出は見られなかったため、本件は収束した。
4	26	相模川	目久尻川	座間市		○		不明	市民から目久尻川に油が浮いているとの通報があった。現場確認を行ったところ、右岸側の排水口から油が流出していたため、河川への流入口付近に、オイルマットを敷設した。翌日に原因調査を行ったが特定には至らず、新たな油の流出は確認されなかったため、本件は原因不明で収束した。
4	30	滑川	逆川	鎌倉市		○		不明	市民から逆川において、油の浮遊及び油臭がすると通報があった。現場確認を行ったところ、油の浮遊及び灯油臭が確認されたため、滑川との合流点手前にオイルマットを設置した。周辺調査の結果、油の痕跡は確認されたが、原因特定には至らず、本件は原因不明で収束した。
5	2	酒匂川	狩川	南足柄市		○		不明	市民から油のような物質が浮いているとの連絡があった。現場確認を行ったところ、少量の油が浮いていることを確認したため、対応として油吸着材を設置し回収した。調査を行ったが原因は特定できず、その後新たな油浮遊は見られなかったことから、本件は原因不明で収束した。
5	10	相模川	玉川	厚木市		○		事業所	事業所から道路側溝を通じて玉川へ油が流出した。原因はトラックの給油を行った後に、計量器から軽油が流出してしまったためであった。対応としてオイルマットを敷設し、パキュームによる洗浄を行った。また、寒川浄水場は活性炭の注入を行った。事故発生2日後には玉川に異常はなく、新たな油の流出は見られなかった。その後、原因者に対し事故報告書を提出するよう指導し、本件は収束した。
5	12	金目川	河内川	平塚市		○		不明	市民から平塚市公所の河内川で油が浮いているとの通報があった。現場確認を行ったところ、河内川の西側の水路で微量の油膜を確認したため、対応としてオイルマットを敷設した。翌日、原因調査を行ったが原因は特定できず、新たな油流出は見られなかったことから、本件は原因不明で収束した。
5	13	相模湾	-	小田原市		○		事業所	小田原漁港にて停泊中の船から油が流出した。原因は、油圧機械のメンテナンスを行い機器の試運転を行った際に、機械油がもれ出たためであった。流出量は約15Lと推定され、原因者がオイルフェンス、オイルマットにより回収作業を行った。原因者に対して事故報告書の提出を指導し、本件は収束した。

5	13	酒匂川	狩川	南足柄市	○	不明	南足柄市中沼の水路において、油が浮遊しているとの通報があった。現場確認を行ったところ油が確認されたため、本川への流出防止対策として油吸着材を設置し回収した。採水分析を行ったが、油の種類の特定には至らず、新たな油の流出も見られなかったため、本件は原因不明で収束した。
6	1	金目川	鈴川	平塚市	○	不明	水利組合から、鈴川の上流にある取水口付近で廃油と思われる黒い油を発見したため、下流への拡散防止として取水口付近を土嚢で囲んだとの連絡があった。その後、土嚢により溜まった油をオイルマットで回収した。市が現場確認を行ったところ、廃油と思われる油の痕跡が付近の駐車場から取水堰横の階段まで点々と続いており、投棄されたものと推定された。回収した油の定性分析を行ったところ、潤滑油と推測された。後日、市が再度確認を行ったところ、現場及び農業用水路に油膜は確認されなかったため、現場対応は終了した。
6	5	酒匂川	野沢川	静岡県小山町	○	交通事故	静岡県小山町湯船の国道246号上でトラックがガードレールに接触する交通事故が発生し、燃料タンクから軽油が最大200L漏洩し野沢川へと流出した。消防等がオイルマットを設置し、油の回収を行った。その後酒匂川の清水橋において油膜が確認されたため、飯泉取水事務所では翌日朝まで活性炭注入を行った。これ以上の拡大は無いと判断したため、本件は収束した。
6	18	境川	大塚川	鎌倉市	○	工事	大塚川において油の臭いがするとの通報があった。現場確認を行ったところ、油膜が確認されたため、対応としてオイルマットを設置した。油膜は当初の油膜確認現場から、少し上流の河川が暗渠になるところまで継続的に確認され、さらに上流を調査したところ、建築現場の掘削機械に使用する軽油の一部を工事事業者が河川へ流出させてしまったことが原因と判明した。その後新たな油の流出はなく、拡大する恐れはなかったため、本件は収束した。
6	29	酒匂川	下菊川	小田原市	○	個人	市民から小田原市千代の下菊川において油が浮いているとの通報があった。調査を行ったところ、原因は個人宅において、バイクの点検中にエンジンオイルを水路に流してしまったことと判明した。市が現場付近にオイルマット等を設置し、油の回収を行い、本件は収束した。
7	7	境川	倉久保川	鎌倉市	○	不明	事業者から鎌倉市台2丁目付近の倉久保川において油が浮遊しているとの連絡があった。現場確認を行ったところ少量の油浮遊を確認したため、オイルマットを設置した。調査を行ったが原因の特定には至らず、油の拡大も見込まれなかったことから、本件は原因不明で収束した。
7	7	相模川	目久尻川	寒川町	○	不明	住民から宮山大橋付近で油が浮いているとの通報があった。現場確認を行ったところ、通報地点下流の公園を通る水路で油膜が確認されたため、オイルフェンスを敷設した。油膜は白色で痕跡がある程度であり、河川水に油臭は感じられなかった。調査を行ったが原因の特定には至らず、油の拡大も見込まれなかったことから、本件は原因不明で収束した。
7	17	相模川	目久尻川	寒川町	○	交通事故	寒川町宮山の水田にパッカー車が転落し、車両を引き上げる際に油が約1L流出した。対応として水田の農水路にオイルフェンスを設置し、農水路の側溝壁面の油は高圧洗浄機で洗浄を行った。事故発生2日後に油の回収及び洗浄が終了し、本件は収束した。

8	4	酒匂川	洞川	南足柄市	○	不明	住民から南足柄市壺下の水路において油が浮いているとの連絡があった。現場確認を行ったところ、油の浮遊が確認されたため、油吸着材を設置した。調査を行ったが原因特定には至らなかった。翌日に吸着材を回収し、新たな油の流出も確認されなかったため、本件は原因不明で収束した。
8	12	相模川	小出川	寒川町	○	交通事故	寒川町岡田において交通事故が発生し、小出川につながる農業用水路に油が流出した。対応として消防がオイルマットを設置した。その後、農業用水路の油の回収が終了し、小出川への油の流出も見られなかったため、本件は収束した。10月現在は油が染みこんだ土を除去・交換する工事の準備中であり、工事が終了するまでオイルマットの設置を続ける。
8	14	境川	柏尾川	鎌倉市	○	不明	藤沢市から古館橋付近の柏尾川において、油が浮遊しているとの通報があった。鎌倉市が現場確認を行ったところ、古館橋上流の町屋橋では油は確認できなかったが、柏尾川に町屋川が流入する地点において油浮遊を確認した。また、古館橋付近にもうっすらとした油膜を確認した。調査を行ったが、原因特定には至らず、油も確認されなくなったため、本件は原因不明で収束した。
8	15	相模川	小鮎川	厚木市	○	事故	厚木市妻田東において、走行中の自動車のガソリントankが突然落ち、ガソリンが道路に流出したとの通報があった。現場確認を行ったところ、千無川と小鮎川の合流地点で油膜・油様臭を確認したため、同地点にオイルマットを設置した。18日にオイルマットを撤去し、河川に異常は認められなかったため、本件は収束した。
9	1	葛川	-	二宮町	○	不明	町民から葛川の新田橋付近で油が浮いているとの連絡があった。現場確認を行ったところ、通報現場及び下流では油膜の確認はできなかったが、通報者が葛川への流れ込みから油が出ている様子を写真に撮っていた。付近は住宅街であり、原因となるような事業場や工場はなかったため、本件は原因不明で収束した。
9	8	酒匂川	尺里川	山北町	○	交通事故	東名高速上り線山北バス停付近でトラックが横転する事故が発生し、軽油最大200L、エンジンオイル最大20Lが流出した。近くの沢及び尺里川にも油が流出したため、高速道路会社、県及び町がオイルマット等を設置し回収措置を行った。飯泉取水管理事務所は活性炭注入の措置を行った。その後新たな流出は見られなくなったため、本件は収束した。
9	12	相模川	-	平塚市	○	漁船関係者	京浜河川事務所が河川巡視中に、平塚市須賀の平塚漁港内で油の浮遊を確認したとの連絡があった。漁港内の縁約3～4mに沿って軽油が広がっており、対応として平塚市がオイルマットを設置した。原因は、漁船の清掃中に誤って油の容器を倒してしまったことであった。その後、漁船からの流出は止まったが、流出した油は漁港内に溜まっており、相模川本川への流出は見られなかった。油のこれ以上の拡大はないと判断し、本件は収束した。
9	24	下山川	-	葉山町	○	不明	町民から下山川の向原橋で油が浮いているとの通報があった。現場確認を行ったところ、向原橋付近では薄く油膜が広がっていたが油の匂いは感じない程度であり、向原橋の上流にある黄金坂橋では油の浮遊は見られなかった。向原橋付近に油が溜まっていたためオイルフェンスを設置した。翌日現場確認を行ったところ、特に異常は見られず、周辺調査からも原因特定には至らなかったため、本件は原因不明で収束した。

10	2	境川	梅田川	鎌倉市	○	不明	鎌倉市が市内河川のパトロールを実施中、小袋谷川において油浮遊を確認した。オイルマットを設置し、現場確認を行ったところ、上流の梅田川に接続する雨水管から油の流入が確認されたが原因特定には至らなかった。後日、油浮遊が確認できなくなったため、本件は原因不明で収束した。
10	2	境川	倉久保川	鎌倉市	○	不明	鎌倉市内の事業所から、倉久保川において油浮遊があるとの通報があった。現場確認を行ったところ、通報現場上流から油の流入が確認されたためオイルマットを設置した。調査を行ったが原因特定には至らなかった。後日、油浮遊が確認できなくなったため、本件は原因不明で収束した。
10	2	境川	-	藤沢市	○	不明	市民から境川の新川名橋付近において、油が浮遊しているとの通報があった。現場確認を行ったところ、柏尾川の川名橋の上流から500mのところから境川の西浜橋付近まで、白っぽい油膜のようなものが確認されたため、境橋上流にオイルフェンスを設置した。調査を行ったが、原因特定には至らず、これ以上の油の拡大はないと判断したため、本件は原因不明で収束した。
10	6	相模川	目久尻川	海老名市	○	事業者	海老名市内の事業所から消防に対し、水路にオイルが流出したとの通報があった。現場確認を行ったところ、河川は水量は多いが流れはなく、油が澱んでいる状態であった。原因は台風の影響で水路が増水し事業所内が浸水したため、事業所内にあったオイルタンクが転倒し、水路に油が流出したことであった。対応として、事業所内に油吸着剤、水路にはオイルマットを設置した。事業者に対し、付近の清掃及びタンクを固定させるなどの指導を行い、本件は収束した。
10	6	金目川	洪田川	平塚市	○	不法投棄	平塚市の事業者から工場敷地内を流れる排水路に油が浮遊しているとの通報があった。現場確認を行ったところ、水路の上流側の道路上において不法投棄の痕跡が確認され、これが原因と判明した。対応として道路上の油を吸着材で回収し、事業場敷地に入る手前の水路にオイルマットを設置した。また、水路と洪田川の合流点前でも油膜を確認したため、オイルマットを設置した。後日、現場に異常がないことを確認し、本件は原因不明で収束した。
10	7	境川	-	藤沢市	○	事故	市民から境川の弁天橋付近で油が浮遊しているとの通報があった。現場確認を行ったところ、原因は係留されたボートから油が流出したことであった。対応としてボートの周囲にオイルマット等を設置した。後日ボートの所有者が撤収作業を行った。作業後確認したところ、河川に油膜は見られなかったため本件は収束した。
10	15	相模川	釜坂川	海老名市	○	事業者	海老名サービスエリアにおいて2tトラックの燃料タンクに穴があり、軽油流出を確認したとの連絡があった。現場確認を行ったところ、サービスエリアから釜坂川方面にも油が流出したため、オイルマットを設置した。夕方、釜坂川を確認したが油膜は見られなかった。翌日、釜坂川に油膜がないことを確認し、本件は収束した。
10	17	相模川	中津川	厚木市	○	交通事故	厚木市三田の排水路に車が転落し、排水路に油が流出した。対応としてオイルマットを設置した。その後、オイルマットを回収し、油が見られなくなったため、本件は収束した。

10	24	金目川	渋田川	平塚市	○	不明	市民から平塚市横内の水路で油が浮遊しているとの通報があった。現場確認を行ったところ、油浮遊が確認され、燃料油のような油臭がしたため、オイルマットを設置した。調査を行ったが原因特定には至らず、これ以上の油の拡大はないと判断したため、本件は原因不明で収束した。
10	29	相模川	-	平塚市	○	不明	平塚市田村の水路で油膜が流れているとの通報があった。現場確認を行ったところ、薄い油膜が流れてきていることを確認したため、オイルマットを設置した。調査を行ったが原因特定には至らず、後日油膜がなくなったことを確認したため、本件は原因不明で収束した。
10	31	相模川	中津川	愛川町	○	不明	町民から愛川町角田の滝の沢で油浮遊があるとの通報があった。現場確認を行ったところ、通報現場では薄い油膜が確認されたが、中津川との合流点付近では、油膜は確認されなかった。調査を行ったが原因特定には至らず、後日再度現場確認を行ったところ、特に異常は見られなかったため、本件は原因不明で収束した。
11	12	田越川	-	逗子市	○	個人	市民から田越川の田越橋付近にて灯油臭がするとの通報があった。現場確認を行ったところ、田越橋付近において油の流出が確認された。周辺を調査したところ、付近の市民が側溝に古い灯油を約7L捨てたことが原因と判明した。対応として、灯油を撒いた側溝と田越橋付近に中和剤の散布を行い、田越橋の直下の護岸付近にオイルマットを設置した。翌日、護岸の隙間からの油漏れは止まっていたため、オイルマットを撤収し、本件は収束した。
11	12	相模川	-	海老名市	○	不法投棄	海老名市中野にある広場でバイクが投棄されており、警察がバイクを引き上げようとしたところ、油が漏れ出した。油膜は本川から外れた支流に滞留したため、対応として油膜が確認された上流と下流にオイルマットを設置した。翌日、現場確認を行ったところ、油膜は確認されなくなったため、本件は収束した。
11	18	相模湾	-	小田原市	○	交通事故	小田原市米神付近の相模湾において車が転落する事故が発生した。オイルフェンスを設置後に車両の引き上げを行ったところ、車からエンジンオイルは漏れ出したがオイルフェンスでエンジンオイルを回収することができた。その後、周辺に油膜は確認されなかったため、本件は収束した。
11	19	金目川	鈴川	平塚市	○	不法投棄	県職員が河川パトロール中に、鈴川の色氏橋上流において投棄されたバイクから少量の油が漏れていることを発見した。車両の引き上げ時にオイルが少量流出したため、オイルマットを設置しオイルの回収を行い、本件は収束した。
11	25	相模川	中津川	愛川町	○	事業者	工事業者から、愛川町の馬渡橋付近の中津川の支川から油が流れているとの通報があった。現場確認を行ったところ、ガソリンスタンドにおいて、特A重油タンクからローリーへの油の移し替え時にノズルが誤作動したことが原因と判明した。油は原因事業所から道路側溝や支流を経由し、河川には100L程度流出したと推定され、オイルマット等により回収を行った。原因者に対し、再発防止等の指導を行い、本件は収束した。

12	1	金目川	筒川、渋田川	伊勢原市	○	事業者	渋田川付近の伊勢原市下糟屋地内において、ビニールハウス用ボイラーの重油タンクから漏れ出たと思われる油分が農業用水路に流出しているとの連絡が原因者からあった。重油タンクの地下配管が破損したことが原因で、漏出した油が埋設管等を通じ水路に流出したものであった。重油は水路に流出するも、応急対策により河川には到達しなかった。対応としてバキューム車やオイルマットによる回収を行った。今後も継続的な油分の回収及び状況監視をするものとし、本件は収束とした。
12	16	境川	砂押川	鎌倉市	○	不明	市民から鎌倉市今泉の水路において油臭がするとの通報があった。現場確認を行ったところ、灯油臭を確認したが、夕方であったため周辺は暗く油浮遊は確認できなかった。翌日、再度周辺調査等を行い、水路に油が流出した痕跡は確認されたものの、原因特定に至らず、本件は原因不明で収束した。
1	28	金目川	鈴川	平塚市	○	交通事故	平塚市岡崎の農道でトラックが横転したとの連絡があった。現場確認を行ったところ、流出した油は少量(燃料は漏れていない)であったが、水路に油膜が確認された。対応として現場付近にオイルマットを設置した。事故2日後オイルマットを回収し、現場に異常は見られなかったため、本件は収束した。
2	10	相模川	天神森都市下水路	平塚市	○	不明	天神森排水路で油が流れているとの通報があった。現場確認を行ったところ、微量の油膜を確認した。相模川本川を確認したが、油膜は確認できなかった。また、現地より上流の天神橋で極めて微量の油膜を確認した。天神橋から上流の畠田橋まで確認したが、油膜は確認できなかったため、原因の特定には至らなかった。後日、現場確認を行ったところ、特に異常は見られなかったため、本件は原因不明で収束した。
2	20	狭塚川	-	三浦市	○	事業所	住民から狭塚川において油浮遊があるとの通報があった。調査を行ったところ、事業所内の配管劣化により、油(灯油、軽油)100L程度が側溝を通り河川へ流出したことが原因と判明した。対応として、狭塚川及び狭塚川が接続する北條湾にオイルマットを設置した。後日、現場確認を行ったところ油の浮遊が確認されなかったため、オイルマットの回収を行った。原因者に対し、顛末書、事故報告書を提出するよう指導し、本件は収束した。
3	10	相模川	目久尻川	座間市	○	事業者	市民から河川に油が浮いていると連絡があった。市、警察が若宮橋付近で油の浮遊を確認した。現場周辺を調査したところ、近くの事業所内に油が散在しており、道路側溝においても油の流れた痕跡が確認された。事業者への聞き取りから、前夜の雨によりトラックの荷台から植物油が流出してしまったとのことだった。原因者に対し、事業所付近や道路側溝にオイルマットの設置及び清掃をするよう指導した。後日、現場において清掃が完了し、油膜等が確認されなかったため、本件は収束した。
3	25	境川	-	藤沢市	○	不明	市消防が境川左岸の新川名橋と奥田橋の間あたりの排水溝から油膜を伴う排水が出ているのを確認した。藤沢市がオイルマット、藤沢土木事務所がオイルフェンスを設置し、油を回収した。周辺を確認したところ、現場下流で1メートル幅の油膜が確認されたが、魚の死亡は確認されなかった。市が現場付近の事業所に対し、立ち入り検査を行ったが、原因の特定はできなかった。その後、現場付近を確認した結果、油膜等の異常は無かったため、後日オイルマットおよびオイルフェンスを回収し、本件は原因不明で収束した。